

# 『大学体育学』同封会員アンケート結果 2014年春

2014年6月1日

『大学体育学』11号に調査票を同封して、回答をファクスで受け取った(2014年3月～4月)  
有効回答数:34大学、5短大

## 1. スポーツにおける体罰・暴力について取り組んでいること

授業で取り上げる・指導する(個人的に)	21	54%
授業で取り上げる・指導する(組織的に)	10	26%
運動系クラブ・サークルに指導(個人的に)	16	41%
運動系クラブ・サークルに指導(組織的に)	9	23%
学生の実態や意識を調査	6	15%
その他	12	31%
無回答	1	3%

### (その他の回答や取り組みの効果)

- ・大学独自のガイドラインを策定した。(近畿支部)
- ・部長会(大学運動学部)で、貴連合の報告書をコピーして渡した。(関東支部)
- ・年に1回クラブ部長懇談会を行い、意識調査をしている。(関東支部)
- ・運動系・サークル系については学生部がスポーツセミナーを実施し指導している。(近畿支部)
- ・各種通達や、記事等の全教員(体育科目担当者や運動部顧問以外も含む全教員)への回覧。(学内の回覧は、事務担当者主導で行われています。)(東海支部)
- ・7月に本学で行う免許更新講習で「スポーツにおける体罰・暴力」について取り上げる予定。(関東支部)
- ・運動部に指導した結果、主将の自覚を促すことができた。(九州支部)
- ・以前から指導を行っていたし、新入生には指導を行い、体罰・暴力の事例は発生していない。(近畿支部)
- ・新聞記事等を読ませ感想を書かせるなどしている。自分が教師、指導者になった時を想定して、くり返すことで感想文の内容が濃くなってきている。(関東支部)
- ・体罰・暴力に関する発生メカニズムや社会的要因などを学生達に考えさせることができた。単純な個人的資質の問題でないことを理解させることができた。(九州支部)

## 2. オリンピック・パラリンピックについて取り組んでいること

授業で取り上げる(個人的に)	26	67%
授業で取り上げる(組織的に)	6	15%
招致活動において東京都と連携	8	21%
その他	10	26%
無回答	2	5%

### (その他の回答)

- ・大学でポスター掲示している。(近畿支部)
- ・招致活動の一環としてパブリックビューイング及び懸垂幕等を実施(関東支部)
- ・現役学生・卒業生が出場したので壮行会・パブリックビューイングを実施した。(北海道支部)
- ・県レベルの集会において、シンポジウムを開催した。(中四国支部)
- ・障害児のスポーツ活動のボランティアに参加させている。(関東支部)
- ・学内共同研究で支援方法を検討している。(関東支部)

## 3. 連合に対する意見・要望

- ・体罰・オリンピック共に個人授業の事例報告を、連合の研修会で継続して紹介していくことを検討して頂きたい。(関東支部)
- ・最近、アクティブラーニング(PBL等)の重要性が叫ばれているが、スポーツ関係の講義科目の中でどのように実施されているか(実施している大学はあるか)、また、講義科目はどのぐらいの人数で行
- ・体育、スポーツ関連授業のシラバス・データベースの提供(要望)(東海支部)
- ・大学生の体力低下していることに鑑み、大学体育の必修化を喫緊の課題として実現されることを望む。(関東支部)

以上